

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月2日	記入者		連絡先	2607
平成18年度部名	保健福祉部	課名	保育課	課長名	大村秀雄
平成19年度部名	こども育成部	課名	保育課	課長名	加藤通一
事務事業名	分園施設賃借料補助事業				
予算上の事務事業名	分園施設賃借料補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		13110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます				
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				
施策名	第1施策 保育環境の整備・充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市分園設置運営補助要綱、相模原市次世代育成支援対策分園設置運営補助要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	保育計画		多様な資源・資産の活用による保育所の新設		
計画年次	17	年度～	21	年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		5 事業開始年度	平成12年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
	保育園分園を設置した場合、その施設賃借料相当額の補助を行うことにより、法人の安定した運営を図る。			(2) 対象(誰、何)	
				分園の運営を実施する保育所(4園)	
	(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。				
	要綱に基づき補助金を交付した。				
	・ 分園施設賃借料補助金 4園 19,269,804円				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	本園と分園を合わせた定員カウントに基づく運営費の保育単価計算により運営費が下がるという問題があり、県内でも少数の実施に留まっている。				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	12,214	12,214	19,270	21,527	21,527
一般財源	12,214	12,214	19,270	21,527	21,527
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	800	800	800	800	800
事業コスト合計	13,014	13,014	20,070	22,327	22,327
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率	事業名(主たる事業名)				
	分園施設賃借料補助金			対象名称と単位	対象保育園
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	12,214	12,214	19,270	21,527	21,527
対象数	2	2	4	4	4
単位あたり経費(円)	6,107,000	6,107,000	4,817,500	5,381,750	5,381,750
前年度比		1.00	0.79	1.12	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	分園による定員増	指標式と指標の説明	分園による定員増 / 保育計画上の定員増		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	50.0	30.0		
目標	0.0	30.0	30.0	30.0	30.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	166.7	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	分園実施設置率	指標式と指標の説明	分園箇所数 / 保育計画における計画数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	2.0	3.0	4.0		
目標	2.0	3.0	4.0	4.0	4.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		待機児童対策として、分園の設置を促進する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
商店街の空き店舗や民間未利用地の把握。			恒久的な施設建設よりも期間を限定した柔軟な対応が図られることから、今後とも推進する必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		より効果的な事業の実施を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			